

表3 入賞者一覧

(1) 特選

教科等の種別	主 題 名	職名	氏 名	概 評
国 語	表現しようとする内容にあった文型を用いて、照応関係の整った文を書く力を高めるためには、何をどのように指導すればよいか。	教諭	二本松市立 二本松南小学校 加藤 隆	基礎的な事項の取り扱いを重視し、語句、文の指導に目をむけた、表現力を高めるための手法を具体的に提示し、実践的に研究をすすめている。今後の国語科の指導として貴重な資料であると思料される。
国 語	到達基準を明確にした指示語の指導	教諭	郡山市立楠小学校 渡部 裕之	国語の基礎を養うため、「A表現」、「B理解」を通して言語事項を指導する観点から、特に指示語の指導において到達基準を明確にし、地道に実践しているところに説得力がある。
数 学	形成的評価問題に、個人ごとの到達度を位置づけ、生徒ひとりひとりの学力を確かなものにする学習指導の研究	教諭	二本松市立 二本松第一中学校 穂積 邦明	研究しにくい評価について取り組んだことはすばらしい。特に指導内容を一つ一つ見直した点がよく、綿密な計画と継続的な指導実践の成果である。
数 学	課題を生かし、主体的学習態度を育成するための実践はどうあるべきか。	教諭	中島村立中島中学校 星 春夫	毎日の授業の中で、着実に積み重ねられた研究である。特に、学習意欲を向上させるための視点が明確になっており、生徒一人一人の変容もよく把握している。

(2) 入選

教科等の種別	主 題 名	職名	氏 名	概 評
国 語	確かに書く力を伸ばすための「学習作文」の指導について	教諭	福島市蓬萊小学校 尾形 明子	主体的に確かに書く力、態度を育てるため、日常の学習活動の中に学習作文を取り入れ実践している。今までの作品主義の作文が、より技能向上のための作文指導として参考となる。
国 語	ひとりひとりの子どもを主体的に学習にとりくませるための学習指導	教諭	郡山市立大成小学校 渡辺 キミエ	国語科の学習への取り組みとして、細部にわたって適切な指導が加えられた地道な実践研究である。今後の国語科指導に貴重な資料であると思料される。
社 会	中学年におけるつくる社会科指導のありかた	教諭	福島市立野田小学校 清野 要	地域素材の教材化をめざして、具体事象の観察と表現活動を計画的に取り入れた実践研究であり、子供が生き生きと学習に参加し、自ら考える社会科の指導をめざした記録である。
音 楽	「生徒一人一人の主体的な活動を通して創造的に楽しく鑑賞させるための指導の工夫」～プロジェクトの手法にもとづく鑑賞指導の実践を中心として～	教諭	岩代町立新郷中学校 市川 洋子	授業の質的転換が叫ばれている現在“プロジェクトの手法”という新しい試みにより、教科の本質にせまろうという研究の意図が明確で注目に値する研究である。
図画工作	4年の図画工作科、実践と確かめ	教諭	河東町立 河東第三小学校 水澤 繁雄	地域の題材・素材並びに児童の実態に即した題材の開発、教材研究の深さ等優れた実践記録であり、克明な授業の結果や反省の記録も好ましいものである。
家 庭	住居と家族領域における実践的態度を育てる指導	教諭	新地町立新地小学校 星 信子	研究の意図が明らかで、教育研究の手法でまとめられており、児童の作品の製作過程や家族の声などをまとめて考察を加え、着実な実践の跡がうかがえる記録である。
学校保健	効果的な保健室経営のあり方	養護教諭	南郷村立南郷中学校 渡部 あつ子	「学校経営の中に明確に位置づけた保健室経営案による保健室の経営管理が児童生徒の健康管理、保健指導に効果がある」という考えにたった実践記録で、今後の方向を示唆している。
学習指導	複式授業において、児童ひとりひとりを生かす指導過程はどうあるべきか。	教諭	いわき市立貝泊小学校 吉田 聡	現状を改善しようとするひたむきな努力が認められ、実践の累積記録と分析により効率的な指導過程の創造を目指す方向は実際の望ましい研究である。
養護教育	個々の障害を改善する障害児教育の実践～障害の重度化・多様化した特殊教育の運営から～	教諭	会津若松市立 城西小学校 宮森 幸運	重度な障害をもつ児童に対する意欲的な指導がみられ、著しい変容のみられる実践記録である。